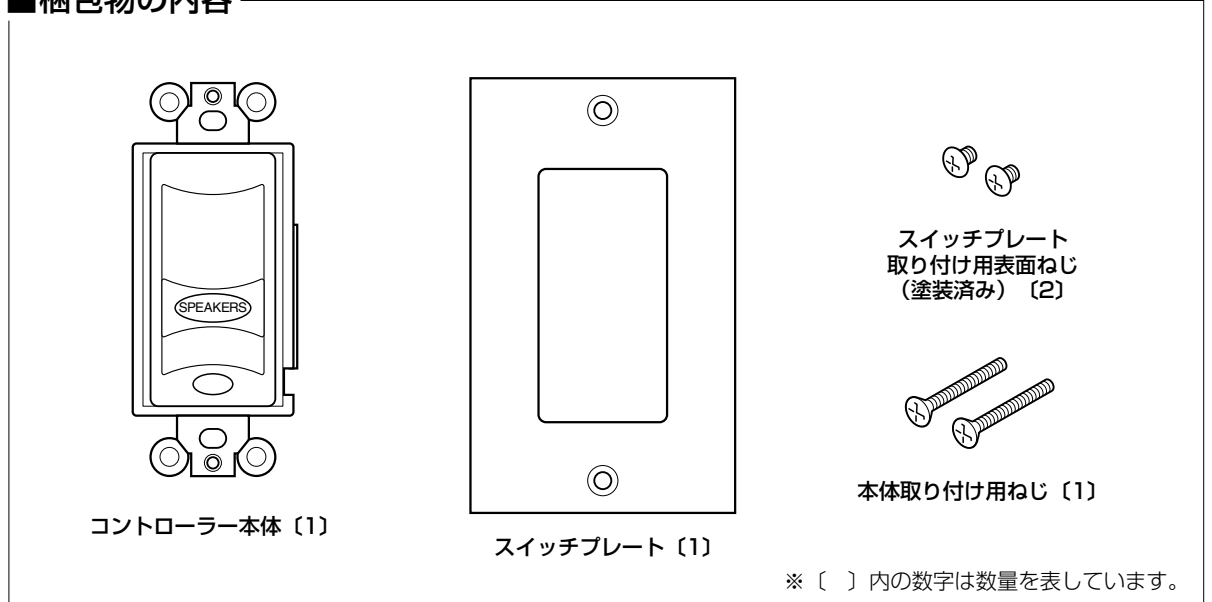
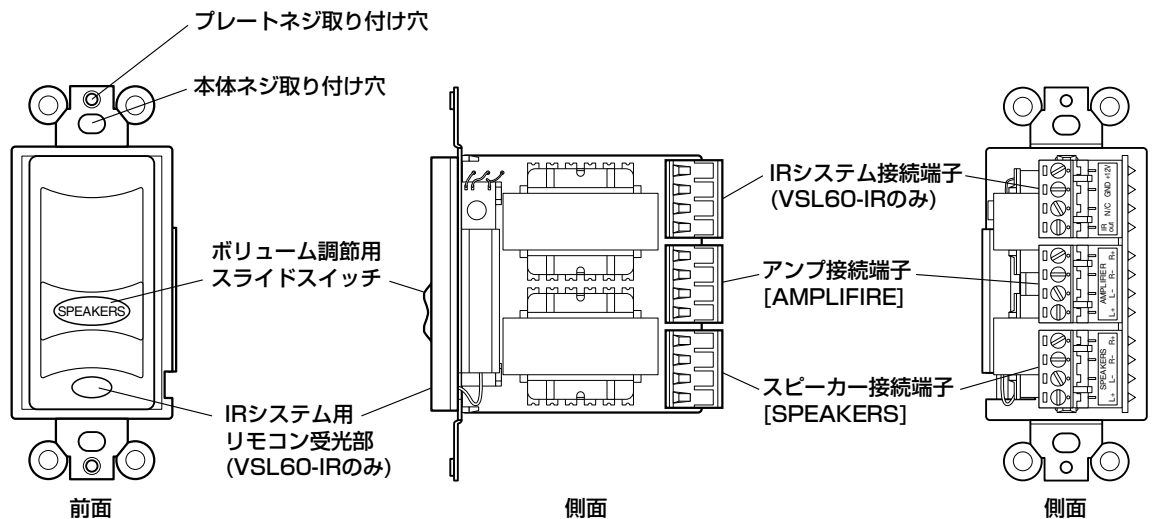
Stereo Volume Control With Built-In IR Receiver **VSL60-IR**
Stereo Volume Control **VSL60**

取扱説明書

■梱包物の内容

■部位の名称

※イラストはVSL60-IRです。

■お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
■この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が施工を行なってください。この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■工事専門業者以外は取り付け工事を行なわない

●工事専門業者以外は取り付けを行なわないでください。
工事の不備により、火災・感電の原因となります。

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■改造しない

分解禁止

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■設置場所について

●過酷な取り扱いを受ける作業所、屋側、屋外などに設置して使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
●湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性のガスの発生する場所等では、使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■中に物を入れない

●本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■締めつけについて

●ネジなどによる締めつけは確実に行なってください。緩んだまま使用しますと、事故の原因となります。

■壁面の切断について

●壁面を切断する場合は、切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。ケガ･火災･感電の原因となります。

■取り付けについて

●本機を取り付ける壁面の強度によっては、補強が必要な場合があります。

⚠注意

■設置上の注意

●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードやその他のケーブルをはずしてから行なってください。

■スピーカーコードは安全な場所へ

●スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

■接続について

●本機を他のオーディオ機器やIR機器などに接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■使用上の注意

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

音のエチケット／楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

VSL60-IR/VSL60の主な特長

●最大入力60W、12段階ボリュームコントロール機能

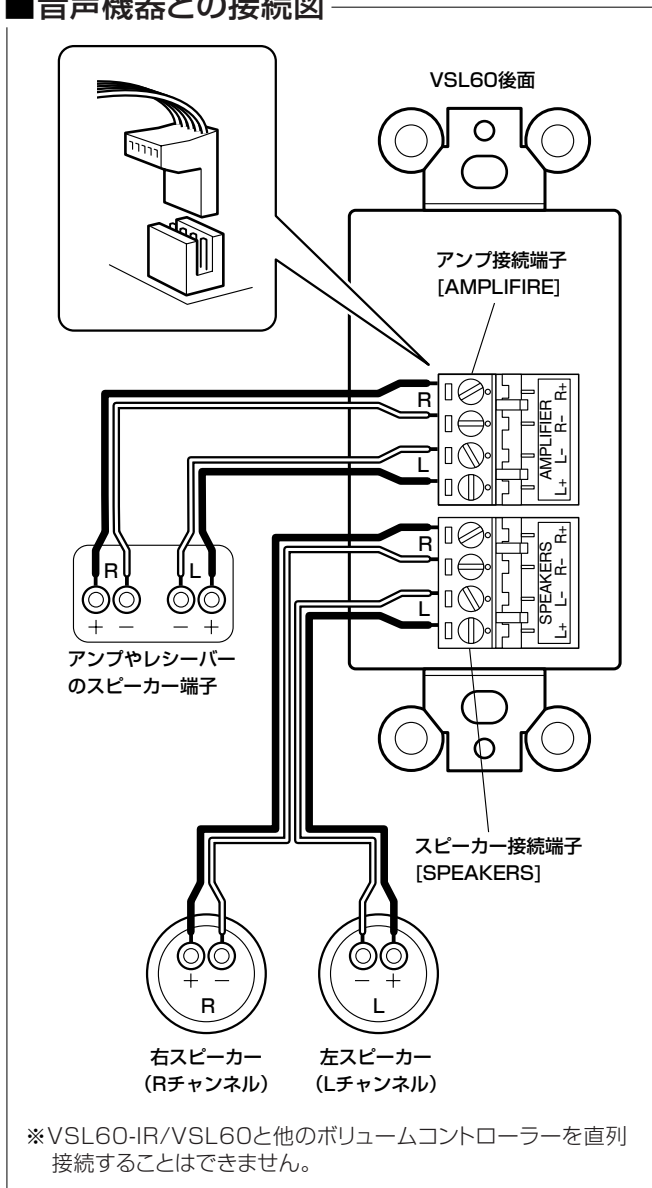
VSL60-IR/VSL60はインウォールタイプの埋込ボリュームコントローラーです。
アンプなどのスピーカー端子から出力された音声信号を、スピーカーコードを使用してVSL60-IR/VSL60のアンプ接続端子にステレオ入力し、さらにVSL60-IR/VSL60のスピーカー接続端子から出力された音楽信号を、スピーカーコードを使用してスピーカーの接続端子に入力します。
これにより離れた場所や別の部屋、キャビネット内部などにあるアンプなどのボリュームレベルを、VSL60-IR/VSL60のスライドスイッチで12段階に調節することができます。

●ワンタッチで脱着可能な接続端子

VSL60-IR/VSL60の接続端子はすべて脱着可能です。
壁内配線時に各端子を結線しておけば、取り付け時にはワンタッチで接続できます。また移動やメンテナンスの際にも、端子に結線したまま取り外しができ、スムーズに作業が行なえる仕様です。

■音声機器との接続図

VSL60後面
アンプ接続端子
[AMPLIFIRE]
R
L
AMPLIFIER L+ L- R- R+
R
L
SPEAKERS L+ L- R- R+
R L
+ − − +
アンプやレシーバーのスピーカー端子
スピーカー接続端子
[SPEAKERS]
− +
R
+ −
L
右スピーカー
（Rチャンネル）
左スピーカー
（Lチャンネル）

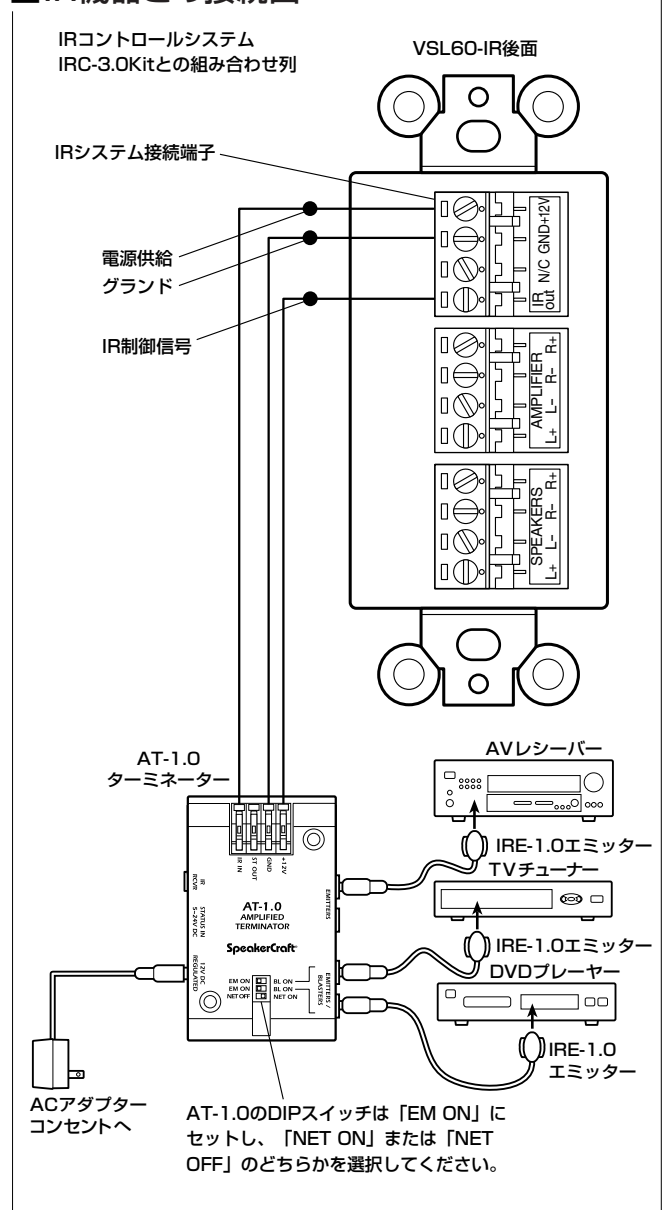
※VSL60-IR/VSL60と他のボリュームコントローラーを直列接続することはできません。

VSL60-IRの主な特長

●ANS対応、高性能IRレシーバー機能

VSL60-IRはボリュームコントローラー本体に、IRレシーバー機能を搭載しています。IRレシーバーは、AV機器で使われる赤外線リモコンからの信号を受信して、信号が直接届かない場所、例えばキャビネット内や別の部屋に設置されているAV機器まで有線で赤外線信号を伝え、操作するための機器です。
さらにVSL60-IRはANS: Ambient Noise Suppression（ノイズ低減機能）を搭載し、蛍光灯やプラズマディスプレイからの不要な赤外線放射による信号ノイズが低減され、より信頼性の高い赤外線信号の伝送ができます。

ご注意

・VSL60-IRはボリュームコントロール機能のみで単体使用することはできません。IRコントロールシステムを組み合わせた構成でのみ使用できます。
・VSL60はIRレシーバー機能は搭載していません。

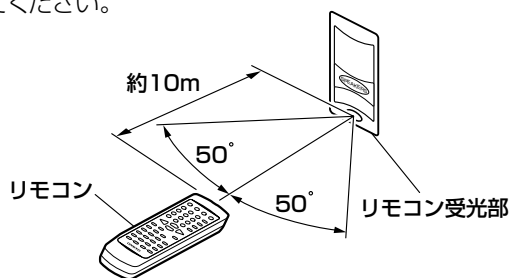
■IR機器との接続図

設置場所の決定

まず部屋の中で主に音楽を聴く場所を決めてください。次にスピーカーやアンプの配置を決め、配線を這わせる場所を確保してください。VSL60-IR/VSL60を設置する一般的な場所は、部屋の入口付近や、他の操作パネルの並び、または音楽を聴く場所に近い壁面などです。

ご注意

配線に使用するケーブルはアンテナのような役割をして、他の機器が発する電磁波などの影響を受けます。照明機器のスイッチや操作パネル付近に設置すると、スピーカーから不快なノイズを再生することがあります。もし照明機器のスイッチなどの近くに設置しなければならにときは、照明機器とは別の配電器を使用するようにしてください。

●VSL60-IRの設置について

主に音楽を聴く場所が、リモコンを操作する場所と考えます。リモコンを操作する場所とVSL60-IRを設置する場所との間が離れすぎていないか、障害物で赤外線が遮られないかを確認してください。

- 日光やインバーター蛍光灯などの強い光が直接当たる場所に設置しないでください。
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のIRレシーバーを併用すると誤動作の原因となります。

設置のしかた

設置の前に、あらかじめ設置する場所までスピーカーコード、その他のケーブルなどを配線しておいてください。

●音声機器と接続する

4ページの「音声機器との接続図」を参考に、以下の手順で接続してください。

①視聴位置から見て右側に設置するスピーカーの接続端子+と−は、VSL60-IR/VSL60後面のスピーカー接続端子(SPEAKERS)R+とR−に、左側に設置するスピーカーの+と−は、L+とL−に接続してください。
②アンプなどのスピーカー端子R(右)の+と−は、VSL60-IR/VSL60後面のアンプ接続端子(AMPLIFIRE)のR+とR−に、L(左)の+と−は、L+とL−に接続してください。

- 接続するときは、アンプなどのボリュームは出力最小にし、電源スイッチ(POWER)はOFFにしたのち、電源プラグを抜いた状態で行なってください。
- VSL60-IR/VSL60の音量調節は最小にしてください。

●IR機器と接続する(VSL60-IR)

マルチルームでの接続については6ページをご覧ください。

接続するIR機器の取扱説明書をよく読み、4ページの「IR機器との接続図」を参考に、以下の手順で接続してください。

①下記の表を参考に、まず接続に必要なケーブルの長さ(総延長)に応じて、使用するケーブルのサイズを選びます。

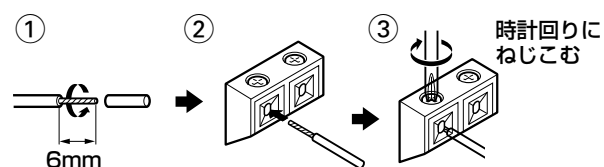
ケーブルの長さ(総延長)	該当規格	直　径	面　積
30m未満	AWG24	φ0.5	0.2SQ
30m〜50m未満	AWG22	φ0.6	0.3SQ
50m〜75m未満	AWG20	φ0.8	0.5SQ
75m〜135m未満	AWG18	φ1.0	0.8SQ

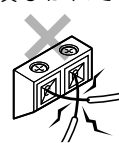
- 単線、より線、どちらでもご使用いただけます。
- CAT5e(UTPエンハンスドカテゴリ5)ケーブルの3芯(〜4芯)をご使用いただくこともできます。
- STPケーブルをご使用になる場合は、ケーブルの長さを30%差し引いた数値で上記の表を参照ください。

②ご使用になるIR機器の接続ブロック(ターミネーター:AT1.0など)のIR接続用端子(EZ-Connect Terminals)IR INは、VSL60-IR後面のIRシステム接続端子IR outに、GNDと+12Vは、GNDと+12Vに接続してください。

- 上記は、キャビネットの中にある機器の制御などの基本的な設置方法です。AV機器を複数の部屋から操作する場合など、マルチルームでの接続については6ページをご覧ください。
- 接続するときは、各IR機器の電源アダプターをはずした状態で行なってください。

●結線のしかた

①スピーカーコードやケーブルの電線被服を6mmだけむく。
②接続端子の穴に、しん線部を差し込む。しん線部がわずかに外に出ているようにしてください。
③接続した端子上部のねじを、マイナスドライバー(小)で時計回りに締め付けてください。

- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。
- より線を使用する場合は、しん線をよくよじり、確実に端子に接続してください。
- より線を半田仕上げしたものは使用しないでください。誤って使用すると、発火したり、発熱して接触不良をおこす原因となります。

- スピーカーコードの+、−(極性)、L(左)R(右)を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。
- スピーカーコードの+、−がショート(接触)していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。

●本体、スイッチプレートを設置する

①設置場所が決まったら、ボックスやはさみ金具を使用するなど、壁面の構造や素材にあった工法で本体を設置してください。
②すべての作業が終わったら、付属の「スイッチプレート取り付け用表面ねじ」を使用してスイッチプレートを設置してください。

■IR機器とのマルチルーム接続図

一部屋にまとめてあるAV機器を複数の部屋から操作する場合は、下図のように接続してください。
（必要に応じてオプションレシーバーなどをご用意ください。）

①各部屋に設置したVSL60-IRや他のレシーバーから、操作するAV機器のそばに設置したAT-1.0まで屋内配線で接続してください。

※下記の表を参考に、まず接続に必要なケーブルの長さ（総延長）に応じて、使用するケーブルのサイズを選んでください。

ケーブルの長さ（総延長）	該当規格	直　径	面　積
30m未満	AWG24	φ0.5	0.2SQ
30m〜50m未満	AWG22	φ0.6	0.3SQ
50m〜75m未満	AWG20	φ0.8	0.5SQ
75m〜135m未満	AWG18	φ1.0	0.8SQ

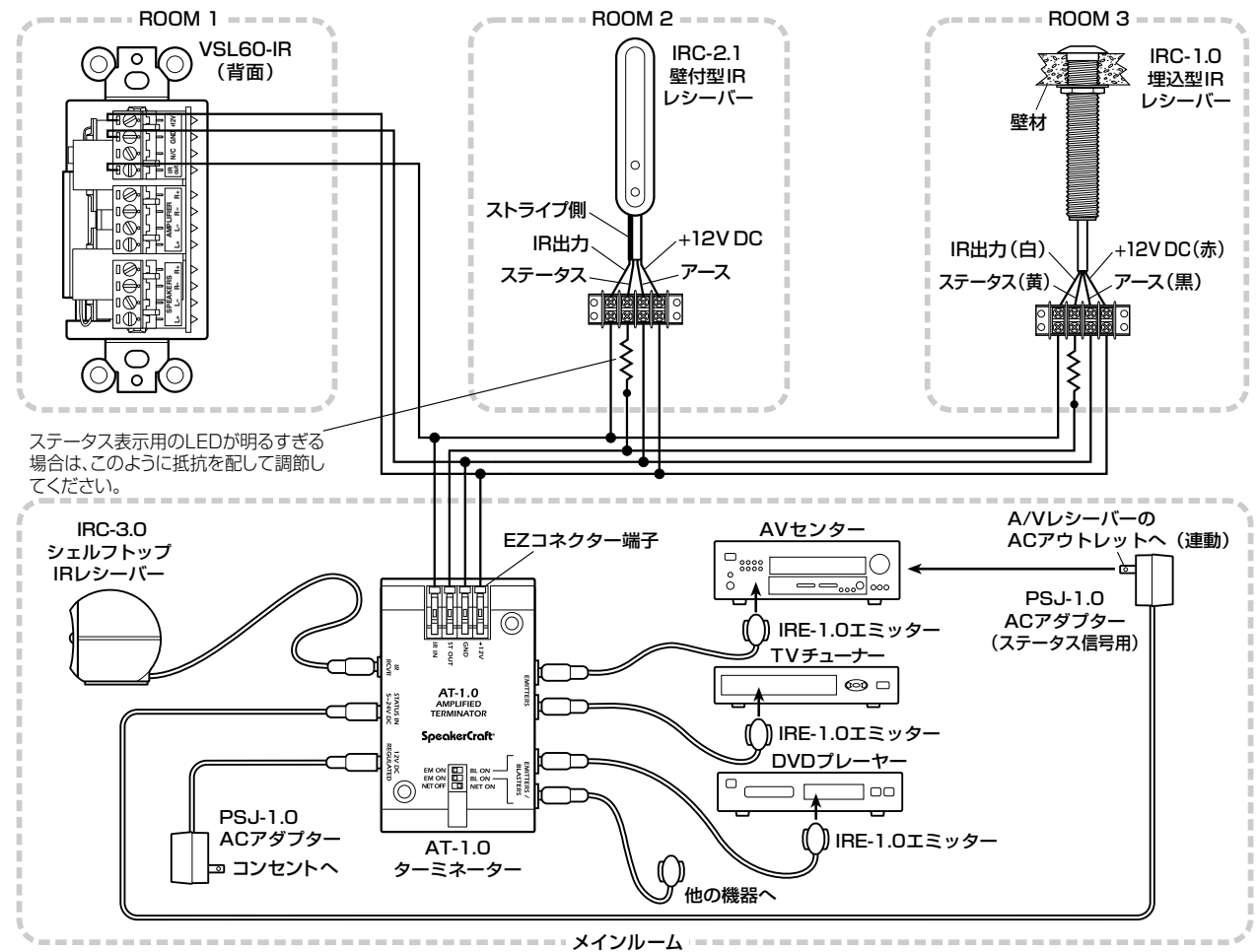
- 単線、より線、どちらでもご使用いただけます。
- CAT5e（UTPエンハンスドカテゴリ5）ケーブルの3芯（〜4芯）をご使用いただくこともできます。
- STPケーブルをご使用になる場合は、ケーブルの長さを30%差し引いた数値で上記の表を参照ください。

②各エミッターを各々の機器に取り付け、AT-1.0に接続してください。
③AT-1.0のDIPスイッチを「EM ON」および「NET ON」に設定してください。
④AT-1.0と同室のIRレシーバーを、AT-1.0の「IR RCVR」につないでください。
⑤ACアダプターをつなぎ、各機器の動作を確認してください。

●ステータス表示LEDの明るさ調整について
ステータス表示LEDを希望する明るさ（約2.2kから12k、1/8W）で表示するために、必要であれば、配線の途中に抵抗を配してください。

●AT-1.0のエミッター／ ブラスターの切り替えについて
スピーカークラフト社エミッターとの接続は<EM ON>に設定してください。<BL ON>に設定すると、大量の電流がエミッターに送信され、エミッターの発熱および発火など、故障の原因となります。

●AT-1.0のネットワークターミネーターの切り替えについて
芯線内での信号の乱反射を防ぐため、ターミネーター（終端抵抗）への接続ON／OFFを切り替えます。IRレシーバーとAT-1.0の間を長いケーブル（シールド線で15m以上）で接続する場合、<NET ON>ポジションに設定してください。また、同一システム内で複数のAT-1.0を使用する場合は、そのうちの1台だけを<NET ON>ポジションに設定してください。

●詳しくは、ご使用になるIRシステムの取扱説明書をご覧ください。

■ VSL60-IR/VSL60仕様

	VSL60-IR	VSL60
ボリュームコントローラー部		
最大入力容量	60W	
音量調節範囲	12段階	
周 波 数 特 性	20Hz～20kHz	
最 大 減 衰 量	42dB	
IRレシーバー部		
電　　源	12V DC、6mA*	–
受信周波数範囲	28～90kHz	–
最大受信可能距離	10.7m**	–
受 信 角 度	±50度	–
IR接続適用配線 （本機には付属していません）	AWG18～24のより線及び単線 （φ0.5～φ1.0、0.2～1.0SQ相当）	–
プ レ ー ト	米国LEVITON社　DECORA***スイッチプレート（1連用）（スクエア）（ホワイト）	
寸　　法	実測図	

*電源は接続しているターミネーター（AT-1.0など）より供給されます。

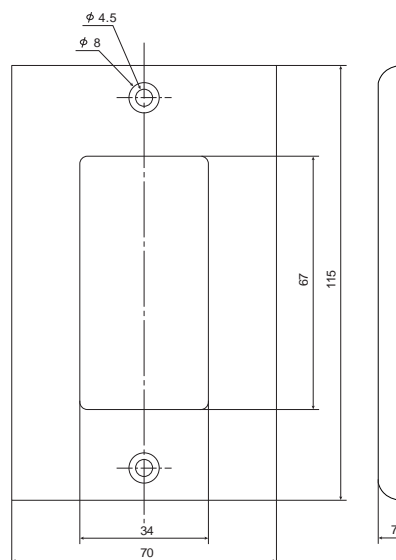
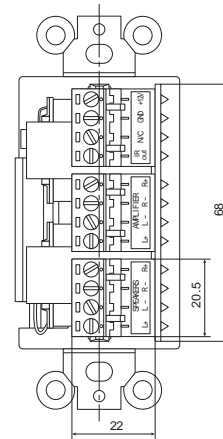
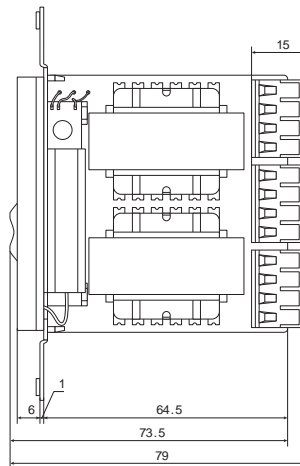
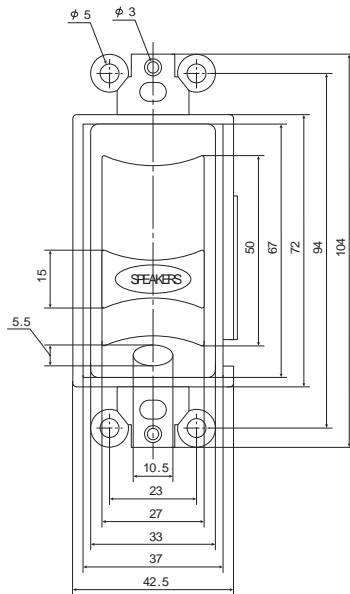
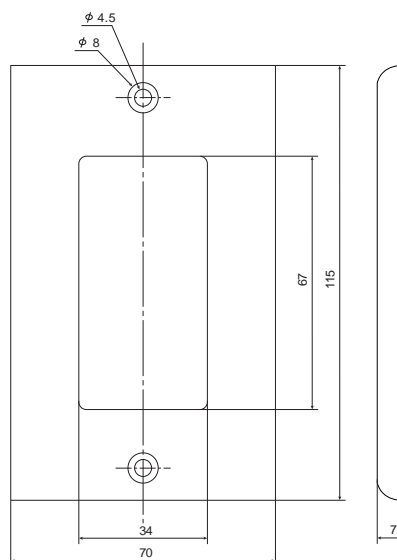
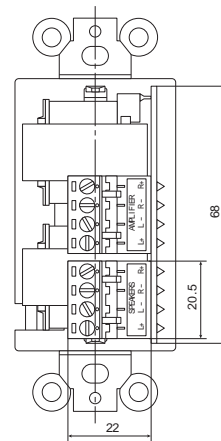
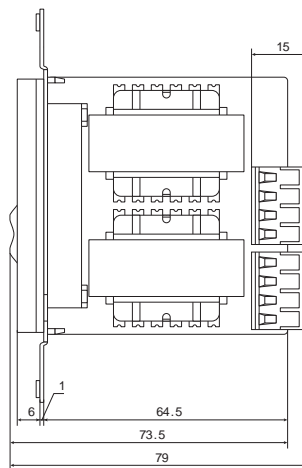
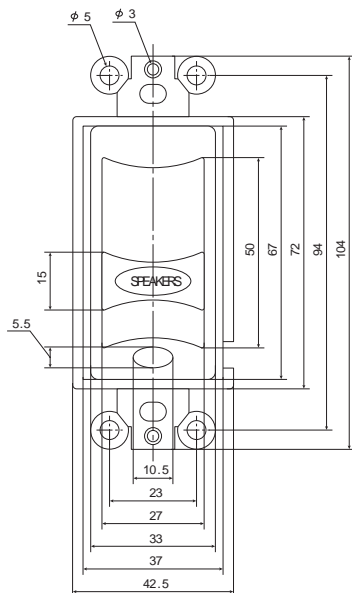
**受信可能距離はリモコンの角度や周辺の環境により異なります。

***DECORAは米国LEVITON社の登録商標です。

※製品の特徴や仕様が予告なく変更されることがあります。

SpeakerCraft社製品ご相談・修理窓口のご案内

オンキヨーオーディオコールセンター
TEL：０５０－３１６１－９５５５（受付時間　１０：００～１８：００）
（ 土、日、祝日、弊社の定める休業日を除きます。）

外形寸法：幅 4.25×高さ 10.4×奥行き 7.9㎝
カットアウト寸法：幅 3.4×高さ 6.7㎝
重量：0.4kg

外形寸法：幅 4.25×高さ 10.4×奥行き 7.9㎝
カットアウト寸法：幅 3.4×高さ 6.7㎝
重量： 0.4kg

SpeakerCraft®

輸入販売元

オンキヨーマーケティングジャパン株式会社

東京都中央区八重洲 2-3-12　〒104-0028

SN 29344317A

G0606-1, 1012-2